

V I A J E

junio 19, 2018
土井先生の活動日記
Honduras Vol.17

先生たちと頑張ってます

7月の今頃は日本だと忙しい真っ盛り。みんなも1学期の締めくくりに向けた毎日を過ごしていることと思います。3年生は部活動の区切りになったのかな。お疲れ様です。西日本では連日の大雨で多くの犠牲者が出たとこちらの新聞でも報道されました。地震に続き大雨とは、怖いですね。一方でホンジュラスの人にとっては、「大きな災害が起きてもなんで被害を最小限にできるのだ？」と別の見方もあるようです。

土井先生はいくつかプロジェクトを進めています。1つは算数オリンピック。これは先輩隊員から引き継いだイベントですが、各校の算数精鋭が8月の公開テストをもって予選を行い、10月のファイナルで勝者を決めるというものです。今その行事の日程や問題などを調整しています。学校同士で争われる関係で先生たちも自校の生徒を勝たせようと必死です。また保護者のみなさんもテストの様子を遠くから見られるので、ちがった緊張感が漂います。

2つ目は先生たちに板書方法の研修会。これはホンジュラスの算数隊員で統一した板書レイアウトを考案し、まずはそのフォーマットに則って授業をしてもらうというプロジェクトです。チョルテカ県の算数隊員は土井先生のみなので、毎週水曜日はチョルテカ県の中心部から離れたところで2時間程先生たちを対象に研修会を行います。飽きないように、日本語であいさつしたり、かけ算の問題を解いてもらったりと活動を取り入れながらプログラムを組んでいます。日本語の「よろしくお願いします」はかなり難関のようです(笑)。



写真左上 私立の学校で行った研修会の様子

写真右上 チョルテカ市内から 20km 離れたナマシグエにある中学校で行った研修会で参加者と一緒に

写真左下 昨年10月に行った算数オリンピックの様子
子ども達は左から1年生、2年生、3年生の順で座って必死に問題を解いています